

議 事（１）

登別市地域公共交通計画の令和５年度予定について

基本方針1 既存公共交通を基本とした持続可能な公共交通ネットワークの確保

目標① 公共交通の維持を目的とした便数・路線の見直し

目標② ライフスタイルに合わせた公共交通サービスの導入

目標 (令和4年度)	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	令和5年度の取組予定
平日の公共交通利用者 (1便あたり)	平日の1便あたりの利用者の目標達成に向けて、道南バス(株)と検討	交通事業者からデータを提供いただき検証	20.5人/日 未達成 R2.10.16(金)の乗降データを基準としており、R4.10.17(月)のデータを活用 全利用者数 ÷ 全便数 (1,065人 ÷ 52便)	ダイヤ改正により、利用者が見込めない便を減便したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標は達成できなかった。	引き続き、道南バスと目標達成に向けた検討を行う。
22人/日					
人口当たりの公共交通市費負担額	赤字解消策について、道南バス(株)と検討	市の補助額と人口から検証	138円 未達成 R4補助額 ÷ R4.9月人口 (6,280千円 ÷ 45,453人)	地域間幹線系統路線の確保・維持のほか、JRの時間的接続に配慮した運行体制となるよう、ダイヤ改正等の状況確認が必要	引き続き、道南バス(株)と赤字路線解消に向けた検討を行う。
110円					
補助対象路線の経常収支率	経常収支率の改善について、道南バス(株)と検討	道南バス(株)提供資料により検証	39.4% 未達成 対象路線(4路線) ・東町ターミナル～若山営業所 ・室蘭駅前広場～東町ターミナル～資料館 ・登別温泉～資料館前 ・登別温泉～カルルス	便数や運行経路など、生活交通の利便性を考慮した運行体制となるよう、ダイヤ改正等の状況確認が必要	引き続き、道南バス(株)と赤字路線解消に向けた検討を行う。
50%					
公共交通説明会等の実施回数	バスの乗り方教室の実施	実施したバスの乗り方教室等を確認する	1回実施 未達成 ・交通事業者と顔の見える関係性構築 ・約180人の来場 ・子どもから高齢者まで来場し、特に子どもが多かった。	11月実施で寒かったため夏休みでの実施などの検討が必要。	夏休み期間に実施するほか、他のイベントとの共催など工夫して実施する予定。
3回					

基本方針2 輸送資源の総動員と連携による公共交通の充実

目標③ 乗務員不足に対応した輸送手段の確保

目標④ 既存移動手段を活用した支援体制の構築

目標 (令和4年度)	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	令和5年度の取組予定
公共交通サービスの満足度	地域公共交通計画の推進	市のまちづくり意識調査等を活用し検証	52.7% 未達成 「やや不満」「不満」と回答した方は50歳代(60.4%)と60歳代(49.7%)で過半数に達し、全体で「満足」「やや満足」「普通」と回答した方の割合は52.7%。	50歳代と60歳代での不満が多かったため、ターゲットを的確に捉えるほか、要因についても把握する必要がある。	目標達成に向けた取組を実施する際に、メインとなるターゲットを考慮するほか、不満と感じている要因を実証実験等で把握する。
55%					
乗務員の確保	イベント等を活用し、公共交通のイメージアップと同時に、乗務員確保に取り組む。	交通事業者から年度末の乗務員数を提供いただき検証	322人 道南バス(株)R2:366人 ⇒ 255人 室蘭ハイヤー(株)R2:69人 ⇒ 53人 登別ハイヤー(株)R2:17人 ⇒ 14人	各社ともに乗務員数が減少し、計画値より大幅に少ない数値となった。持続可能な公共交通とするため、人員確保や運行効率的の向上策の検討が必要。	各交通事業者の採用状況等の意見交換を行うなど、現状確認から取り組む。
460人					
新たな公共交通サービスの提供(累計)	目標達成しているものの、必要な施策の検討を行う。	協議会で議論した新たな公共交通サービスを確認する。	1件 達成 バスロケーションシステムを広域で導入。	取組の実施に際しては、ICTや民間企業等との連携を含めて検討が必要。	公共交通空白地域の解消に向けた検討において、新たな公共交通サービスの提供も視野に入れる。
1件					

基本方針3 地域住民・観光客に対する安全・安心な移動支援

目標⑤ 観光客に対応した移動支援

目標⑥ 公共交通空白地域における移動支援

目標 (令和4年度)	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	令和5年度の取組予定
観光客向けの公共交通支援(累計)	グリーンスローモビリティの本格実施に向けた検討。	協議会で議論した新たな公共交通サービスを確認する。	0件 未達成	R5年度の実施状況を注視し、持続可能な公共交通サービスとなるよう検討が必要。	実施状況について検証。
1件			・R5.3月にグリーンスローモビリティ実証運行 ・R5.4月本格運行の予定		
公共交通の人口カバー率	公共交通空白地域の解消方法の検討。	協議会で議論した新たな公共交通サービスを確認する。	82.63% 未達成	運転手が不足との声があるほか、利用しやすい公共交通サービスの検討が必要。	公共交通空白地域における実証運行により、ニーズを把握し、検討を進める。
83%			市内路線バスの廃止はなく、公共交通空白地域の解消もないため、現状維持となった。		